



共済加入のご案内

随時受付しております。

お申込み、お問合せは津島町商工会まで

“商工貯蓄共済”

貯蓄
増える楽しみ

保証
いつでも安心

1つの掛金で
3つのメリット!

融資
しっかり支える

+医療特約で
さらに保証
充実!

職員異動のお知らせ

新規採用	転出（西予市商工会へ）
経営支援員 二宮菜緒（にのみやなお）	経営支援員 岡本志津（おかもとしず）



新規採用になりました、二宮です。

一日でも早く仕事を覚えて、会員の皆様のお役に立てるように尽力して参ります。ご指導の程よろしくお願い致します。

愛媛県の経済動向について

出典：いよぎん地域経済研究センター
IRC Monthly 調査月報 3月号

緩やかに持ち直しているが、物価上昇に伴う個人消費への影響が懸念される

全国：1月の内閣府月例経済報告によると、景気はゆるやかに持ち直している。先行きも持ち直しが期待されるが、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れが日本の景気を下押しするリスクがある。
愛媛県内：愛媛県内も緩やかに持ち直しているが、一部で弱い動きとなっている。先行きについては、物価やエネルギー価格の上昇が個人消費に水を差す可能性があり、持ち直しの動きは力強さに欠けたものとなるだろう。

【雇用】

地域別有効求人倍率は東予が1.69倍、中予が1.51倍、南予が1.85倍とすべてで前年を上回った。

【物価】

昨年12月の松山市の消費者物価指数（2020年=100）は、総合指数が102.9と前年同月比3.2%上昇。原材料・原油価格高騰等の影響で、幅広い品目で価格が上昇している。

【消費】

昨年12月の「百貨店・スーパー」の販売額は、前年同月比0.6%増と、6カ月連続で前年を上回った。うち百貨店の販売額は、前月に引き続き、衣料品が不調で、同8.8%減となった。



【観光】

昨年12月の道後温泉旅行宿泊客数は前年同月比20.5%増の75,146人となった。観光庁の宿泊旅行統計によると、2022年の延べ宿泊者数（全体）は約4.5億人泊、前年比で4割増となり、コロナ前の2019年の8割程度まで回復した。

